

14. メモアール編集委員会報告

2009年3月28日(土) 17:00—18:00 東京大学数理棟 128 教室においてメモアール編集委員会が開催されましたので、そこで議論された内容を中心に、2008年度の編集委員会の活動について報告します。

・2008年度新規出版：2008年度に刊行したのは英文メモアール2点です。

—MSJ Memoirs Vol. 18.

Yasutaka Ihara :

On congruence monodromy problems

(2008年10月刊行, xvi + 230 pages,

¥2,800 (税込)) .

—MSJ Memoirs Vol. 19.

J. Najnudel, B. Roynett, M. Yor :

A global view of Brownian penalizations

(2009年4月刊行, xi + 137 pages,

¥1,820 (税込))

整数論と確率論で対照的な2冊ですが、ぜひご覧ください。なお引き続き、PDE・整数論・トポロジーに関するメモアールの発行が予定されています。

・バックナンバーのPDF化：品切れになった場合に備えてバックナンバーの電子化が懸案となっていましたが、理事会の承認と高山信義委員の尽力によりすべて完成しました。

・編集委員の交代について：小澤徹・小林亮一・坪井俊・舟木直久・宮岡洋一の5名の委員は3期9年の任期が満了したため退任し、新たに林仲夫・小島定吉・吉田朋広・並河良典氏を編集委員として理事会に推薦することを決定しました。これに伴って、編集委員長・編集局長は谷口説男委員に交代しますが、前編集委員長であった宮岡は、委員会規定に従って、引き継ぎのため1年間委員として留任します。

メモアール編集委員長としての仕事はこれで終わりですが、在任中数々の失敗でご迷惑をかけた関係者におわびするとともに、長い間支えていただいた編集委員のかたがた、歴代出版委員長、および数学会事務長である張良さんに感謝します。

(MSJ メモアール編集委員長 宮岡洋一 記)